

第7回 JICA-JISNAS フォーラム プログラム (案)

【日 時】2018年12月14日(金) 13:30~17:00 (受付13:00~)

【会 場】JICA 研究所

【テーマ】産官学協働による農林水産分野途上国人材育成について~JICA 開発大学院連携における農林水産分野の日本の開発経験とは~

趣旨説明

JICA は、JICA 開発大学院連携構想の下、農林水産分野における途上国人材育成計画(2020-2030)を策定中です。同計画では、我が国 ODA の事業戦略や協力イニシアティブと留学生事業とのシナジー効果を生むべく、6つの優先プログラム(①農業・農村開発政策立案能力向上、②アジア・アフリカ地域持続的な農業生産振興、③アジア・アフリカ One Health 強化、④水産開発・海洋資源管理、⑤フードバリューチェーン、⑥自然資源管理)を設定の上、年間約100名、10年間で約1,000名の留学生受入を目指す予定です。また、JICA は留学生受入大学及びJISNAS の協力を得て、留学生事業に付加価値をつけるべく、①良質な留学生候補者の確保及び受入大学とのマッチング、②農林水産分野における日本及びアジアの開発経験に関する講義の提供、③帰国留学生との絆の維持、のための各種方策を講じる予定です。さらに、こうした途上国人材育成への取組みが、日本企業の海外事業展開や日本国内の課題解決にも繋がるよう、産官学の協力・連携が期待されています。

第7回 JICA-JISNAS フォーラムでは、JICA の開発大学院連携・農林水産分野途上国人材育成計画案の概要の理解を深めた上で、「産官学の協働による途上国農業開発・人材育成への協力」について意見交換するとともに、JICA 開発大学院連携参加大学の事例等を基に、途上国留学生に伝えるべき「農林水産分野における日本及びアジアの開発経験」について議論を深めることを目指します。

—開会—

13:30-13:40 開会挨拶: JICA 理事 加藤 宏

—講演—

<第一部> 産官学協働による途上国農業開発・人材育成への協力

13:40-13:55 講演者①: 宍戸 健一 (JICA 農村開発部・部長)

演 題: JICA 開発大学院連携・農林水産分野途上国人材育成計画案について

13:55-14:10 講演者②: 志和地 弘信 (東京農業大学国際農業開発学科・教授)

演 題: 国際農学人材育成の取り組み (仮題)

14:10-14:25 質疑応答

14:25-15:05 パネルディスカッション: 調整中

15:05-15:20 休憩

<第二部> 「農林水産分野における日本及びアジアの開発経験」~途上国に伝えたい日本及びアジアの開発経験とは?~

15:20-15:35 講演者①: 伊藤 圭介 (JICA 農村開発部・課長)

演 題: 農林水産分野における日本の開発経験~共通講義モジュール・プログラムの形成に向けて~

15:35-15:50 講演者②: 廣政 恭明 (九州大学大学院農学研究院・准教授)

演 題: 「農林水産分野における日本の開発経験」講義に関する九州大学の取り組み

15:50-16:05 質疑応答

16:05-16:50 パネルディスカッション：調整中

—閉会—

16:50-17:00 JISNAS 運営委員長 緒方 一夫
(九州大学・副学長／熱帯農学研究センター・センター長)

17:30-19:00 交流会（会費制）：「農林水産分野における途上国人材育成計画（2020-2030）」の6つのプログラム毎に各テーブルに分かれて、質疑応答・意見交換を予定。